

国際文化専攻（課程レベル）アセスメント・ポリシー

2026年度生以降

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	日本文化、比較文化のいずれかの専攻分野において、体系的知識を習得し活用することができる。
DP2	人文科学諸分野の研究方法を理解し、文化学、歴史学、文学、言語学、考古学、文化人類学のいずれかを軸に、学際的視野と高度な研究方法によって、自ら設定した課題について探究することができる。
DP3	国際的かつ学際的視野をもって各々の文化を捉え、現代社会におけるあり方を考察するとともに、グローバル社会における自らの役割を自覚し、実社会との関わりを踏まえて専門的な知を追究することができる。
DP4	専門とする分野の必要に応じて、日本語あるいは英語によって、専門的な内容を話し、聞き、書き、読むことができるとともに、社会の様々な場面において、異文化理解能力とコミュニケーション能力を発揮し、課題解決に貢献することができる。

2. アセスメント・ポリシー／アセスメント・プラン

#	アセスメント・ポリシー (アセスメント項目)	アセスメント・プラン (アセスメント方法)	対応するDP								責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3	DP4							
共通基礎アセスメント項目													
1	GPA	年間GPA分布と通算GPA分布を集計し、平均GPAと通算GPA2.0以上の学生の比率につきアセスメントを行う。	◎	○								研究科執行部	
2	成績評価	成績分布と単位修得率を集計し、アセスメントを行う。	◎	○								研究科執行部	
3	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率と各設問の回答結果を集計し、成長実感等につきアセスメントを行い、退学率と休学率についても検証する。		○	◎	○						研究科執行部	
4	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者数と参加率を集計し、アセスメントを行う。			◎	○						研究科執行部	
6	学位授与	学位授与数と学位授与率を集計し、アセスメントを行う。	○	◎		○						研究科執行部	
7	修了後の進路	就職内定率と就職率、進学率を集計し、アセスメントを行う。			○	◎						研究科執行部	
8	修了時調査	修了時調査の調査回答率と各設問の回答結果を集計し、総合満足度と成長実感につきアセスメントを行う。			○	◎						研究科執行部	
論文作成過程アセスメント項目													
9	研究計画書	研究テーマの適切さ、計画の実行可能性、計画書の適切さについて主指導教員を中心に評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員がアセスメントを行う。
10	研究中間発表	研究テーマと研究目的の妥当性、先行研究の理解、研究方法の適切性、研究の実行可能性を主な指標として評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
11	論文作成計画発表	研究テーマ・研究目的の独創性と妥当性、論文の構成や論旨の展開の適切性、先行研究と参考文献の理解、調査の計画性を主な指標として評価する。	○	◎								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
12	修士論文概要発表	「論文作成計画発表」の指標と、調査資料の妥当性と分析考察の妥当性、今後の展開の可能性を主な指標として評価する。	○	◎	○							研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
13	修士論文審査	修士論文は、「人文科学研究科大学院課程修了要件」に記載の審査方法と審査基準に基づいて評価する。		◎	○	○						研究科執行部	主査と副査がアセスメントを行う。